



とくしま 県議会だより

第121号【年4回発行】

令和6年5月12日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/



2月定例会の概要 会期 令和6年2月15日～3月11日

総額約5,002億円の 令和6年度当初予算などを可決

開会日には、令和6年度当初予算などが提案されるとともに、令和6年能登半島地震への対応、新たな総合計画の策定、新年度の各種施策、高速道路の全国共通料金制度の継続、知事公舎の在り方などについて、知事から所信が述べられました。

代表・一般質問では、能登半島地震を踏まえた今後の地震対策や木造住宅の耐震化等の防災・減災対策、新ホールの整備、中小企業の人手不足への対応、農林水産物の輸出促進、クルーズ船・スーパーヨット誘致、公立高校の通学区域制見直し、若者の回帰・定着促進、県有施設への太陽光発電設備導入目標などについて論議しました。

今定例会では、「徳島県子ども未来応援条例」、意見書1件、規則改正1件、条例改正1件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案95件を原案どおり可決・同意しました。

2月定例会の主な審議の結果

●可決、同意された議案

○令和6年度当初予算

- ・一般会計（1件）

当初予算額は5,001億8,900万円
前年度比97.0%（コロナ関係予算
除く前年度比100.9%）

- ・特別会計（16件）

- ・企業会計（6件）

○令和5年度補正予算

- ・一般会計（2件）

補正予算額は49億6,935万3千円の増額（開会日の先議）と298億1,562万7千円の減額で、補正後の予算は5,367億9,983万1千円

- ・特別会計（18件）

- ・企業会計（6件）

○条例の制定（6件）

- ・徳島県子ども未来応援条例（議員提出）など

○条例の改正（27件）

- ・徳島県議会委員会条例の一部改正（議員提出）など

○負担金案件（3件）

○契約案件（3件）

○人事案件（3件）

○その他（7件）

- ・徳島新未来創生総合計画の策定など

●可決された意見書（1件）

- ・マイナ保険証への円滑な移行を求める意見書

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要



新正副議長紹介

正副議長選挙が行われ、議長に元木議員、副議長に山西議員が選ばれました。



詳しい内容は
こちらから



第98代議長
元木 章生
(もとき あきお)
52歳
三好第二選挙区
(当選5回)

略歴

副議長、総務委員会委員長、文教厚生委員会委員長などを歴任



第109代副議長
山西 国朗
(やまにし くにお)
39歳
名西選挙区
(当選3回)

略歴

文教厚生委員会委員長、県土整備委員会委員長などを歴任

議員提案による政策条例を制定しました

全会派で組織する政策条例検討会議で検討を重ね、次の政策条例を制定しました。

徳島県子ども未来応援条例

子どもは、次代を担う未来への希望、かけがえのない宝であり、大人の支援を受けながら、自立した個人として自己を確立していく権利の主体であり、生きる、育つ、守られる、参加する権利をはじめとした「子どもの権利」が尊重されなければなりません。そこで、子育て支援の充実強化や、安定的な財源の確保、子どもの健やかな成長の根幹をなす「子どもの権利」の尊重に取り組み、全ての子どもが自分らしく、安心して、笑顔で生き生きと暮らせる社会を実現するために本条例を制定しました。

皆さま一人一人がその取り組みについて関心や理解を深めていただき、条例の趣旨が広がっていくよう、ご協力をお願いします。



岡田議長（中央左）に検討結果報告書を提出する政策条例検討会議の井下座長（中央右）（2月8日）

第1回徳島県議会高校生フォトコンテストの入賞者が決定しました

若い世代の政治や議会への関心を高めるとともに、徳島の魅力発信に資するため、「みんなに伝えたい徳島の魅力」をテーマに、県内高校生から写真を募集したところ、231点の応募があり、審査の結果、次のとおり入賞者を決定しました。

- 議長賞 鳴門高等学校2年 いたいみのり 板井 美梨 「朝の光」
- 芸術文化振興議員連盟会長賞 脇町高等学校1年 こんどう 近藤 さくら 「次郎笈まであとひと息」
- 優秀賞 小松島西高等学校2年 あさくら 朝倉 崇瑛 「TOKUSHIMA JK！」
- 徳島科学技術高等学校1年 くにきよ 國清 愛弥 「勝浦の宝」
- 城北高等学校2年 とみおか 富岡 さくら 「大河」
- 徳島市立高等学校2年 まつおか 松岡 佳太郎 「母なる大地」
- 鳴門高等学校3年 よこせ 横瀬 綾美 「夏と雲と制服と」

(敬称略)
(優秀賞は五十音順)
(学年等は受賞時)

受賞作品はこちら→



表彰式（2月29日）

代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。
所属会派は質問時点での表記です。

◎ 知事の答弁 答 関係部局の答弁

南海トラフ巨大地震を見据え、
緊急対策を積極的に講じるべき



いかわりゅうじ
井川龍二
(徳島県議会自由民主党)

問 能登半島地震の教訓を踏まえた議論で出た提案は、緊急的な対策として、予備費を活用し、速やかに実行に移すべきではないか。

答 ワーキンググループからの具体的な提案については、一刻も早く実現する必要があることから、県民の命と暮らしを守るための緊急対策として、予備費を活用し、早急に着手する。

問 県立高等学校の在り方について、今後本格化する通学区域制の議論と併せ、生徒がより良い環境で学ぶことができるよう検討すべきではないか。

答 多様な意見を頂ける有識者会議を新年度の早い時期に設け、通学区域制の議論とともに、今後の生徒数の減少を見据えた県内各地域における公立高校の在り方についても検討する。

問 新興感染症が発生した場合に、県民の生命と健康を守るため、県は新たな徳島県感染症予防計画に基づき、具体的にどのような対応を行うのか。

答 流行初期の対応として、コロナ第3波と同程度の患者数に対応できる体制の確保を、また、まん延期への備えとして、第8波に相当する体制の確保を目標として対応力向上を図る。

万代中央ふ頭のさらなる
にぎわい創出で新たな観光拠点へ



ふくやまひろし
福山博史
(徳島県議会自由民主党)

問 魅力ある水辺の複合エリアに生まれ変わったにぎわい創出に、どのように取り組むのか。

答 交通アクセス強化策として、駐輪場確保および隣接する県職員駐車場の休日無料開放を実施。また、緑地や憩いの場の整備、水上タクシー等の拠点となる浮桟橋の改修などを進める。

問 能登半島地震を踏まえ、単独の市町村で対応不可能な大量の災害廃棄物について、南海トラフ巨大地震発災に備えた広域処理体制を強化すべき。

答 直ちに現地に職員を派遣し、把握した課題を速やかに県内市町村に横展開。新たに、国、市町村、関係機関などと一体となつて、広域的な災害廃棄物処理訓練を県主導により実施する。

問 全国で大河川の河川整備基本方針の見直しが進められているが、上流域における洪水調節容量が吉野川に比べ十分でない那賀川の整備にどう取り組むのか。

答 長安ダム改造事業における長期的堆砂対策の着実な推進、調査・検討が進められている小見野ダム再生事業など、将来を見据えた治水対策を新たな計画に反映させるべく取り組む。

行政の公平性という観点から
県下全域でにぎわい創出を



かわま たたくみ
川真田琢巳
(グローバルplus)

問 マチ★アソビは重要なコンテンツであるが、広域行政を担う県の役割として、県下全域でのにぎわいを創出するためにどのような取り組みでいくのか。

答 アニメの聖地とくしまとして定着した認知度を起爆剤に、アニメを活用したイベントの開催や市町村等のイベント、コンテンツとの連動、eスポーツツーリズムの推進を検討する。

問 世界で訪日観光が注目を集める中、観光誘客拡大を見越して、観光客に選ばれたい県産品の開発を後押しするため、県内企業を支援していくべき。

答 首都圏の消費者に対して調査を行うとともに、商品開発に意欲的な企業への伴走支援を行い、ネーミング、パッケージ、中身のそれぞれに魅力あふれる売れる県産品の創出に努める。

問 阿波吉野川警察署の庁舎整備に係る基本構想策定に当たり、現在地の傾斜が急であることなどの課題を踏まえ、今後どのような検討をするのか。

答 治安防災上の中核拠点として、耐震性やセキュリティ対策などの性能、必要な設備や規模、整備手法や事業スケジュールに加え、敷地への動線やインフラ途絶の影響も含め検討していく。

多くの防災士を育成し、
地域防災力の一層の強化を



ながいけふみたけ
長池文武
(新しい県政を創る会)

問 切迫する南海トラフ巨大地震を見据え、県民が防災士資格をより一層取得しやすくなるよう有効な対策を講じるべきではないか。

答 令和6年度の防災士資格取得短期講座の研修期間を4日間から2日間に短縮するとともに、短期講座による資格取得者等を対象としたフォローアップ講座を新たに開設する。

問 南海トラフ巨大地震発災時には、多くの木造住宅の倒壊が予想される。木造住宅の耐震化を進めるため、広く耐震診断を受けてもらう必要があるが、具体策は。

答 耐震診断・耐震改修の重要性についての情報発信や、耐震相談会開催など多様な手法を用いて取り組みを強化。加えて、市町村等と連携し、戸別訪問や耐震セミナーを開催する。

問 地域コミュニティ再生の場所でもある、こども食堂について、困難な状況にある子どもたちや保護者とながら運営者に対し、手厚い支援を行うべき。

答 今定例会に提案した補正予算により、生活困窮家庭への宅食活動や不登校対策として、学習や居場所の支援などの活動経費を優先的に助成することで、きめ細かな支援の充実を図る。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

◎ 知事の答弁 答 関係部局の答弁

誰もが安心して子育てができる
徳島の実現を



いむらやすひろ
井村保裕
(徳島県議会自由民主党)

問 希望する誰もが安心して子育てできる環境整備に向け、子育て世帯の負担を軽減するため、今後、どのように取り組んでいくのか。

答 経済的負担軽減のため、令和6年度から医療費助成を18歳まで拡大し、入院医療費を完全無償化する。また、多胎児など特有の悩みを抱える家庭の交流会開催等を行う。

問 農業を取り巻く環境が非常に厳しい状況にある中、持続可能な本県農業の実現に向け、次代を担う農業人材の育成・確保策を強化すべき。

答 とくしま農林水産チャレンジセンターで担い手に対し、技術・経営両面のリスキリング研修を新たに展開するとともに、副業希望者等を、実践研修の開催等により就業につなげていく。

問 既存施設を有効に活用しつつ、本県におけるスポーツ実施環境のさらなる充実を図るため、あいさいスタジアムの芝生再整備を行うべき。

答 令和6年度当初予算案にあいさいスタジアムの芝生再整備の設計に係る経費を計上。施設の管理運営を担う小松島市と今後の維持管理や役割分担、活用等の検討を進める。

災害医療を支える核となる
DMATの着実な養成を



ひらやまなみち
平山尚道
(徳島県議会自由民主党)

問 南海トラフ巨大地震など本県を含む広域的な大規模災害時の医療救護活動で重要な役割を果たすDMATについて、今後どのように育成・強化を図るのか。

答 能登半島地震を教訓に、派遣者の経験を活かした研修の拡充・強化や医療用資機材の一層の充実などに加え、県内で迅速に活動できる徳島県ローカルDMATの創設を検討する。

問 県内企業の競争力向上や人手不足への対応のため、中小・小規模事業者へのDX推進に向けたさらなる支援の充実を図るべき。

答 県内の関係団体でDX支援プラットフォームを構築し、支援策やDX導入の好事例を情報提供するポータルサイト作成や、小規模事業者等へのデジタルツール導入促進等を実施する。

問 助けられる犬・猫の殺処分数ゼロの持続的な達成とともに、やむなく殺処分されてきた命を救うため、さらに大きな一歩を踏み出すべき。

答 助けられる犬・猫の殺処分数ゼロの永年連続達成はもとより、その先の、全ての犬・猫の殺処分数ゼロを見据え、譲渡不適の犬・猫の命を可能な限りつなぐ社会実験にチャレンジする。

対策を強力に進める。

より効果のある取り組みを強

から検討する。

に考えているのか。

わしい制度の在り方を検討する。

が、どうか。



さかぐちせいじ 坂口誠治 (真政会)

学区制の廃止は一刻の猶予も許されない

えた動向を注視していく。

の支援を行うべき。

的に提示し、推進している。

うに位置付けているのか。

を国へ要望していく。

いか。



たつたよしこ 達田良子 (日本共産党)

国民健康保険税(料)の子ども均等割廃止を

常任委員会

2月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

災害時に救出・救助活動部隊となる機動隊の災害対策、徳島県こども未来応援条例の周知、知事公舎の売却を決定した経緯及び今後の対応、女性に対する移住交流施策などについて質疑及び提言がありました。

●文教厚生委員会

回復期病床の現状と病床確保に向けた取り組み、介護人材の確保に向けた取り組み、教員の負担軽減に向けた取り組み、県立高校1人1台端末の故障対応などについて質疑及び提言がありました。

●経済委員会

徳島バッテリーバレイ構想に係る蓄電池関連産業の集積に向けた検討状況、令和6年度のアニイベント関連事業の開催方針、徳島県産ブランド畜産物GAP推進加速化事業などについて質疑及び提言がありました。

●県土整備委員会

木造住宅の耐震改修に係る取り組み、工業用水道の地震対策、令和6年能登半島地震の教訓を踏まえた緊急対策、犬猫の殺処分ゼロに向けた社会実験などについて質疑及び提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

マチ★アソビの今後の見通し、県都のまちづくり、フィッシングショー大阪2024、観光ルート造成、宿泊キャパシティ拡大事業、踏切内の点字ブロック設置などについて質疑及び提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

令和6年能登半島地震を踏まえた緊急対策、管理不全空き家への対応、市町村における個別避難計画の作成状況、中山間地域の孤立対策、医薬品の備蓄などについて質疑及び提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

卒FIT^{※2}対応・蓄電池導入促進事業、ZEV^{※3}導入の加速、県有施設への太陽光発電設備の導入目標、建築物解体工事等に係るアスベスト対策、県有林Jクレジット取得の拡大などについて質疑及び提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

パートナーシップ宣誓制度、学校におけるジェンダーレスの取り組み、リモート学習の導入による不登校対策、公営住宅でのこども食堂開催、保育士の配置、介護報酬改定などについて質疑及び提言がありました。

用語解説

※1 【リスキリング】「Reskilling」。職業能力を再開発、再教育すること。

※2 【FIT】「Feed-in Tariff」の略。再生可能エネルギーで発電した電気を、電力会社が一定価格で一定期間買い取る制度。

※3 【ZEV】「Zero Emission Vehicle」の略。走行時に二酸化炭素等の排出ガスを出さない電気自動車や燃料電池自動車等。

常任委員会県内視察の概要



●経済委員会

●県中央部（令和6年1月17日）

株式会社大塚製薬工場松茂工場にて、施設の視察を行うとともに、輸液製造における合理化等の取り組みについての意見交換会を行いました。



株式会社大塚製薬工場松茂工場

●県土整備委員会

●県中央部（令和6年1月19日）

徳島東環状線街路工事の現場において、事業概要の説明を受けた後、末広大橋に向けての上部工架設状況を視察しました。



徳島東環状線街路工事現場

議会トピックス

- 徳島県議会から石川県に対し、令和6年能登半島地震被害への見舞金を贈呈しました（1月26日）。
- 議決対象とした新たな総合計画について、全議員勉強会を開催しました（2月15日）。

議員連盟の活動

- 教育振興議員連盟が、校則について、勉強会を開催しました（12月27日）。
- 水産振興議員連盟が、スジアオノリ等の集荷状況を視察した後、徳島県漁業協同組合連合会と徳島県の藻類養殖業について意見交換を行いました（1月15日）。
- 畜産振興議員連盟が、畜産関係団体懇話会との意見交換会を行いました（2月5日）。
- 観光振興議員連盟が、徳島県知事等に対し、多言語による案内看板の設置など、観光振興に関する要望を行いました（3月6日）。
- 医療・福祉関係議員連盟が、地方における子育て支援について勉強会を開催しました（3月13日）。

県議会小学生社会見学ツアーを開催しました

2月15日には南小松島小学校6年生の皆さん、2月20日には佐那河内小学校6年生の皆さん、2月21日には由岐小学校5、6年生の皆さんが参加されました。

南小松島小学校(小松島市)の皆さん



佐那河内小学校(佐那河内村)の皆さん



由岐小学校(美波町)の皆さん



議会コンサート



2月15日、議事堂1階ホールにおいて、多国籍の座員で構成され、世界に人形浄瑠璃の素晴らしさを広めるため活動されている「徳米座」の皆さまと義太夫節の鶴澤友輔さんに阿波人形浄瑠璃を上演いただきました。



県議会表彰式



2月21日、議場において、スポーツや学芸部門の全国大会、世界大会で最優秀の成績を収めた個人と団体の児童、生徒および学生の皆さんに対し、県議会表彰を行いました。



徳島県議会と大学との包括連携協定事業

- 1月16日、議員と徳島文理大学総合政策学部の皆さんが、「カーボンニュートラルの実現のために」をテーマに意見交換会を行いました。
- 議事堂1階ホールにおいて、2月定例会開会中、四国大学における地域連携活動に関する取り組みなどを紹介するパネルを展示しました。

とくしま議会だより第120号の議会クイズの答えは、①新でした。



監査委員 眞貝 浩司 古野 司	新ホール整備や航空路線誘致などを調査する「まちづくり・魅力向上対策特別委員会」を新たに設置するなど、特別委員会の再編を行いました。	こども未来・安心対策 原 徹臣 坂口 誠治 達田 良子	地域活性化対策 平山 尚道 近藤 諭 岡田 晋 立川 了大 福山 博史 岡田 晋 扶川 敦 長池 文武 山西 国朗 扶川 敦 曾根 大志 仁木 啓人 寺井 正邇 梶原 一哉	防災・環境対策 木下 賢功 岡田 理絵 山西 国朗 長池 文武 竹内 義了 曾根 大志 仁木 啓人 寺井 正邇 梶原 一哉	まちづくり・魅力向上対策 川真田 琢巳 井下 泰憲 岡 佑樹 庄野 昌彦 須見 一仁 古野 司 眞貝 浩司 古川 広志	特別委員会 委員名 委員長 副委員長 委員	議会運営 須見 一仁 井川 龍一 浪越 憲一 岡田 理絵 眞貝 浩司 北島 一人 嘉見 博之	議会運営委員会 委員名 委員長 副委員長 委員	県土整備 梶原 一哉 嘉見 博之 曾根 大志 原 徹臣 須見 一仁 古川 広志 井川 龍一	文教厚生 立川 了大 竹内 義了 木下 賢功 井下 泰憲 坂口 誠治 長池 文武 近藤 諭	経済 井村 保裕 寺井 正邇 扶川 敦 岸本 淳志 川真田 琢巳 達田 良子	総務 福山 博史 浪越 憲一 岡田 晋 北島 一人 東条 恭子 岡 佑樹	常任委員会 委員名 委員長 副委員長 委員	徳島県議会委員会名簿 議長 元木 章生 副議長 山西 国朗	徳島県議会議長 山西 国朗 (令和6年4月1日現在)
		委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員	委員 委員名 委員長 副委員長 委員

議会見学会のご案内

議事堂を見学してみませんか。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。
TEL : 088-621-3010



議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。

令和6年6月定例会の日程

6月10日	常任委員会
6月11、12日	特別委員会
6月13日	本会議(開会)
6月18日	本会議(代表質問)
6月19日	本会議(代表質問・一般質問)
6月21、24~26日	常任委員会
6月27、28日	特別委員会
7月3日	本会議(閉会)

日本維新の会	元氣とくしま	護民官	日本共産党	眞政会	公明党徳島県議団	グローバルplus	新しい県政を創る会	自由民主党県民会議	徳島県議会自由民主党	会派名
				岡 佑樹	古川 広志	浪越 憲一	東条 恭子	井川 龍一	眞貝 浩司	正副会長
				坂口 誠治	梶原 一哉	沢本 勝彦	長池 文武	寺井 正邇	須見 一仁	幹事長等
曾根 大志	岡田 晋	扶川 敦	達田 良子			近藤 諭	庄野 昌彦	井下 泰憲	平山 尚道	会
						川真田 琢巳	竹内 義了	立川 了大	元木 章生	員
1名	1名	1名	1名	2名	2名	5名	5名	6名	14名	人員

徳島県議会議長

(令和6年4月1日現在)